

経営の樹を育てる会

【第38回】 2章・経営者の品性 Q&A

日時 : 令和3年8月6日(金)18:30~21:00
場所 : 品川駅近 関ビル 4階 オープン & zoom配信
出席者: 【会場】高橋・鈴木(建)・鈴木(一)・山田(武)・山田(ふ)・白井
【zoom】松本・鈴木(義)・鈴木(友)・渥美
会場6名 zoom 約4名 計10名参加
講師 : 古川益一
司会 : 高橋利至
書記・HP・設営 : 鈴木一弘・鈴木健太郎・高橋利至・山田武久

新しいテキスト2回目、経営者の品性を学びました。

1. 学んだこと 感想など

- ① 「品性」は何をするにおいても欠かせないとても重要なものと学びました。今まで人を裏切らずに傷つけることなく生きていきたいと思っておりました。でも常に誰かを裏切っており、人間は人を裏切らずには生きていけない動物ということが衝撃的でした。自分が正しいと言え、相手が悪いと言っていることになり、争いに繋がるのです。そこで「調和」が大切になるのだと少しわかってきたような気がしました。同じ状況にあっても、品性があれば運も強くなり、乗り越えていけると感じました。品性を日々磨いてまいります。

◎Comment

これは極論のように聞こえるかと思いますが、経営者である以上、ここまで深く考えなくてはならないことと理解して下さい。

- ② 経営者としての品性
一言で表すと人を大事にする事だと思いました。社員を始めとした、会社に関わる人々を大事にする。個人だけでなく、地域社会という集合体においても同じ事で経営というのは社会に対してどうやって貢献できるかを真剣に考えれば自ずと良い方向に向かうのだなと考えさせられた。

◎Comment

人を大事にすることは大切なことですが、無理なく自然に行なうために更にもう一步踏み込んで下さい。「人を大事にする事が自分を大事にすることであり、自分を大事にする事が人を大事にする事」つまり自己愛と他者愛の調和です。

- ③ 今回のテーマ、経営者の品性は何度聞いても答えが一つではない、恐らく死ぬ間際まで考え思うテーマかと思えます。
私は古川先生の仰る、和合と争うことを避け流れに乗るというものを、古川先生

が手掛ける再建案件や交渉事などで、常に見させて頂いているので、私自身も色々な出来事や困難事に、この思想で進めているなと思いました。今、オリンピックが開催されて様々な種目でアスリート達が素晴らしいパフォーマンスを披露して下さっておりますが、皆共通して言えるのが、毎日毎日反復練習をしているということです。

品性と言うテーマは、毎日毎日このテーマを考える事、反復することが大事だと思います。勉強会で学んだからわかった、ああ聞いたよ、では体に入ってきません。何度も何度もこのテーマを学び続けることが、品性の向上の第一歩だと思います。これからもこの経営者の品性の10カ条を常に読み続け、身体に沁みつけたいと日々精進します。

本日もありがとうございました。

◎Comment

何度も参加して下さいと感謝します。一人でも多くの方に参加して下さいを願っています。

- ④ ・「欠点があってこそ人間」。人をも自分をも、どこか責めている自分がいました。
・和合してはいけないものの区別が付けられず、「お人好し」になっていたように思いました。
・最も大切にしなければならないのは「社員」。薄々感じておりましたが、『やっぱりか！』という気持ちです。
・多くの人を裏切ってきたことを、なかったことにして生きていたり、言い訳して相手のせいにしてしている自分を発見しました。

◎Comment

自分自身を客観的に眺めることはとても大切なことです。客観視できると様々な気づきを得られるようになり、確実に前進していくことと思います。

- ⑤ 経営の樹を育てる会の中で「経営者の品性」が一番の学びになっています。何度も勉強させて頂く中で、今回改めて重要な気づきになったのが「第6条・人の陰口を叩かず自己の過去を反省出来る人」です。
特に、日々反省する5項目の中の【④人のためと、自分の為の心のバランスは取れていたか？】は私自身、出来ているようで出来ていないように思いました。
「与えれば得られる」という逆説を何度も学び、現場で実践しているにも関わらず、その場の利益(損得)に固執している自分に器の小ささを感じずにはられません。
以前よりも少しは改善されつつありますが、まだまだ自分の損得を中心に考える傾向があるので、人の為と自分の為のバランスを取れるよう日々修練していきたいと改めて感じました。

◎Comment

自分の欲を捨てる事はとても難しいことです。簡単に出来ることではありません。日々「感謝、実行、反省」を繰り返しながら一生を通じて地道な努力を続けていかなければいけないのかもしれない。

⑥ 感謝から始まる一日の大切さ。

そこから行動をして、その行動を振り返り、しっかりと反省出来る。その反省から新しい気づきがあり、また感謝へと続けられる。この循環を大切にして、品性を磨きたいと感じました。まだまだ未熟ですが、少しずつ学びを増やして、会社を健全にしていけます。

いつも貴重な講義ありがとうございます。

感謝、実行、反省、本当に重要ですし、経営の根幹とも感じました。有難う、お陰様で、人への感謝から、自分にも返ってくる言葉と感じました。

大切な気づきになって嬉しく感じましたし、感謝は遠慮なくしていきます。

経営者の品性。以前、自分が一番欠けていたもので、今では先生の勉強会で一番好きなテーマになりました。

今日学んだのは、自己愛と他者愛の調和。この調和が本当に難しい事と思います。自己愛の考え方を一歩間違えてしまえば、形を追ってしまう。自分は何の為に生を受けたのか？といつでも自分に問うていくのは大変だと感じています。

しかし、感謝の心を持ち、毎日自分自身の在り方を律していくことを心掛けたいと思いました。

経営者は品性を身につける事。品性や感謝する心、無為自然でいれば、社員もお客様も取引先もついてくると思う。パートナーシップを気づき、ビジョンに向かって進んでいけば、自然と人もお金も回ってくる。

人の為に貢献することで、自分が学び成長する、そして周りに与えられ、そして自分に返ってくる。最近、心からそう感じます。

和の心、調和、無為自然、感謝、貢献、全て大切、それを意識しながら、生きていきたいと思っています。

◎Comment

何れも素晴らしい感想です。私の話す内容を更に深めて下さり大変嬉しく思います。ありがとうございます。

⑦ 『会社経営の成功は、能力や努力だけでは説明がつかず、「運が良かった」と言われる場合が多い。

どうすれば運を強くすることが出来るか？

突き詰めると周りの人からの協力が、自然に出来ている人を「運」の強い人』と教えて頂きました。

この運のお話を伺い、

鉄鋼王アンドリュウ・カーネギーの墓石に刻まれた言葉を思い出しました。

『己より優れた者を周りに集めた者、ここに眠る』

私自身、己の品性を磨き続け、周りの人の協力を得て、世の中のお役に立つ仕事をしていきたいと心に刻みました。

◎Comment

品性を高める事は運を強くすることに繋がります。

経営者の求めるものは、「どんな苦しい状況に置かれても、流れに吞まれず、流れに乗ることができる安心感」であると思います。その運を強くすることが品性を高めることであり、経営者の真の努力だと思います。

- ⑧ 経営者は品性を磨くことが最も大事なのだと考えます。なぜなら自分の人生の根本でもあるから。そしてその品性とは、経営理念に沿って、会社に関わっていたただけの皆さんに、感謝を感じさせるようなものかと思いました。達観という素晴らしい言葉を得ることが出来ました！言葉一つで、生き方に軌道修正がかかる僕自体にも感謝です！

◎Comment

経営者に取っての達観と言う言葉を掘り下げてみましょう。

経営者の達観は2つ必要と思います。

1つ目は、自社の状況を良く知り、将来についてもよく見直すことができること。

2つ目は、周囲に惑わされず、何事にも動じないでリーダーシップを発揮すること。

さらに進んで「こだわりを捨て、無為自然の境地で生きていく」ことになろうかと思えます。

2. 質問にお応えします

Q1. 新しく起業するにあたってまずしないといけない事は何でしょうか？

◎Answer

大変抽象的な質問なので、答えにくいのですが、形の上での行動と、心の持ち方の両面があるように思います。

形の上では、手続き上の事なのでご存知のことと思います。

法律上の起業は極めて簡単なことです。

しかし起業してから順調に経営していくことになると、簡単ではありません。

起業に当たってまずしないといけないことは、その会社の設計図を作成することだと思います。

つまり、経営計画書の作成です。

経営計画書の作り方は、経営の樹を育てる事とイメージして分かり易く説明しておりますので、本会の勉強会に参加して下されば必ず作れるようになり、これからの経営者としての自信も生まれて来るものと思います。

そして起業1年目が基礎作りの年です。この一年の決算を黒字にすることにより、世の中に法人としての人格を認められることとなります。

Q2. あまり経営の内容が良くない、財務状況を明確に社員に発表するときの、気を付けることがあれば教えてください！

◎Answer

財務状況がいかにも良くななくても、将来必ず良くなる！ことを明確にした上で、発表しなければならないと思います。

良くない状況をそのまま発表し、将来に失望を与えることは絶対に避けたいものです。

こうすれば必ずこうなる！と自信を持たせる計画書の作成に全力を注いで下さい。

そして次の3つを社員に持たせるようにして下さい。

(テキスト186頁 社内の意思統一)

①**信頼感** 再建計画に沿って着々と実行すれば必ず再建出来るという信頼感

②**安心感** 社長についていけば間違いないという安心感

③**期待感** これから待ち受ける困難にも社長が何とかしてくれるという期待感

このようにして社員の皆さんと一心同体となることが出来れば必ず再建に向かうものと思います。

Q3. 従業員に仕事は任せているものの、ついその仕事に自分の我を出してしまいます。また部下に物事を進めるように頼んでますが、あまり作業が進んでなければ、結局自分が手を出してしまいます。

そうすると部下的には社長がその仕事をしてくれるものと思い、余計に人任せになったりもします。

こちら辺の意識をつけてもらうにはどうしたものでしょうか？

◎Answer

これは社員に対するものではなく、自分自身との戦いのように思います。

その為には、経営の樹が根っこから幹、枝へと繋がっているかを再検討して下さい。

特にテキスト第3章、組織戦略を読み返して頂き、一つ一つチェックしてゆけば答えが出て来るように思います。

1. 規範型組織運営が行なわれているか？
2. 組織階層の質的量的バランスが取れているか？
3. 3面等価の原則は守られているか？
4. 組織運営サイクルは正しく回っているか？（VOCとPDSサイクル）

- 5. 報連相は守られているか？
- 6. 快適な職場環境を維持できているか？
- 7. 業務マニュアルを作成し守られているか？

など、チェックしてみてください。

3. 勉強会で学ばれた内容がありましたら教えてください。

1. 短期的、長期的計画の立て方

◎Answer

経営計画書の作り方にて詳細に解説しております。
楽しみにして下さい。

2. 真にこの先、100年会社を続ける事を考えてます。

会社には跡取りが居なくて、自分が居なくなった後、どうになってしまうのか、不安が残ります。その解決の糸口として、地域と一緒に運営出来る様な仕組み、また組織作りなど学んでみたいです。

◎Answer

会社は生き物です。人間と同じように必ず死を迎えます。従って100年後のことを考える必要はないように思います。

私は法人の一生を春夏秋冬の心に例えています。

春の心は、世の中に貢献したい心を持って芽吹き

夏の心は、世の中に誠を尽くして貢献し

秋の心は、世の中に花を咲かせて無心となり

冬の心は安心感に包まれて後継者に譲り、多くの人の心に生き続ける

如何でしょうか？ これは真理を探求してこそ得られる境地と思います。

3. 達観視するための学び

◎Answer

達観視は前途1の⑧にて延べました。これを如何にして身につけるかということですが、達観視は知識の修得だけでは得られないと思います。

知識は学べば学ぶ程、迷っていきます。

しかし世の中を真理で見えていくと、どんどんシンプルになり、最終的に達感することが出来るようになります。

知識と真理の違いは、テキスト20頁の通りです。真理というものを追求して下さい。必ず理解出来ていくものと思います。

4. 会社の中で社長の次の立場にある従業員が、なかなか前に向けた行動につながりません。ですので自分の在り方を見つめ直す機会としました。
また自分のエゴはどこにあるのか、お話ししたいと思います。

◎Answer

素晴らしい気づきと思います。「人を変えることはできないが、自分を変えることはできる」ことに気づくことができれば簡単に好転していくことと思います。
(テキスト226頁)

4. 勉強会を通じて、自社にどんな成長をのぞまれているか教えてください。

1. 経営の基礎を学び思っただけでなく実際に上手く実業を回せるようになりたい。

◎Comment

当会で学んで下されば必ずそのようになっていくと思います。
そして分からないことがあれば分かるまで質問を続けて下さい。

2. 「経営」と「個人の幸福」の両立

◎Comment

小企業の経営者にとって個人の幸福と会社の成長は切っても切れないものです。
会社の経営者になられた以上、社長業を自分の天職とし、「会社経営を通して社会に貢献しながら人生を楽しむ」気概と余裕を持って欲しいものと思います。
(テキスト 17頁)

3. 私は勉強会を通じてこれからの自分に期待をしています。誠意を尽くせる人達と共に歩んでいけるような成長をしていきたい。
経営者としての品性を磨き、自身の周りにいる人達を常に笑顔に出来る。
そんな成長をしたいです。

対境関係者、全ての方が無為自然に生きられる、自然と広がる環境を創り続けていきたいと思っています。

品性の重要性は常々感じてきましたが、具体的にどういった心構えであるといいのか、また、具体的行動はどうあるべきかをいつも、今でも考えてきております。

「経営」と「個人の幸福」が両立する真理こそ、自分自身が究極に求めるものであることがやっと見えてきました。しかし、言うほど崇高な生き方をしてきておらず、古川先生のおっしゃることが、日々少しずつですが痛感するようになってきました。

◎Comment

いずれも素晴らしい感想です。ありがとうございます。
このような考え方を目標にして歩めば必ず成長してゆくことと思います。
因みに私はすべて失敗してきました。失敗したからこそ反省を込めて皆さんに同じ道を辿って欲しくない一念にて申し上げております。

4. 誰が聞いても納得できるような話ができるのと嬉しいです！

◎Comment

誰が聞いても納得できるものは真理です。

- 物は上から下へ落ちる
- 太陽は東から昇り西へ沈む
- 梅は春咲き、菊は秋咲く
- 表があれば裏もある
- 善があれば悪もある
- 楽しい時があれば苦しい時もある

このように議論の余地のないもの、つまり「真理」を考え方の基本におけば誰でも納得して頂けるものと思います。

私は真理の考え方を陰陽思想に求めています。
(毎月第一土曜日 13:30~16:30 陰陽五行風水家相講座に是非ご参加下さい)

5. 勉強会への質問、要望などがありましたらご自由にお書きください。

1. 古川先生が勉強会で一番嬉しいことは何ですか？

◎Answer

もちろん多くの方が来て下さることが何より最も嬉しいことですが、特に嬉しいことは次の通りです。

- ◆ アンケートなどにより、気付かなかったことに気付きを与えて下さった時
- ◆ 答えられないような難しい質問を頂いた時
- ◆ 皆さんと心が一つになって話し合えた時

などになろうかと思えます。このように私自身が学ばせて頂いております。

2. このアンケートフォームは、メールで送ってもらうことも可能ですか？
少し時間かけて書きたい時に、LINE から入るとアンケート終わるまで他のLINE が開けずです。
また一度アンケートフォームを閉じると最初からになってしまいます。
出来ればメールだと、有難いのですが。

◎Answer

(古川) メールで送るように致します。FAX でも構いません。何らかの方法で連絡下さい。

(事務局) ご丁寧にお時間かけてアンケート記入して頂き、誠に感謝致します。
ご質問の内容の解答ですが、スマホやタブレットにてLINE からURL クリックしてアンケートを開きましたら、safari や Google(ご使用のスマホのSNS 端末)に移行されておりますので、記入途中でLINE 上で消えたとしても、記入途中のアンケートは safari や Google(ご使用のスマホのSNS 端末)に残っておりますので、ご確認下さい。
また、アンケート URL は毎回同じなので、web の“お気に入り”などに追加して頂ければいつでもそちらから開くことが可能です。
上記内容にてご質問の内容事項は回避できると思います。
ご不明でしたら直接事務局員にお気軽にご連絡下さい。

3. 今回もそうでしたが、リモート画面がチラついて見にくいです。改善して下さい。

◎Answer

(事務局) 大変申し訳ありません。改善するように致します。

皆さまへ Message

回を重ねる毎に内容が深化しているように思います。
楽しみにさせて頂いております。ありがとうございます。

古川益一 拝